



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye into All The World”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
西日本区理事主題	「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」 “Attend club meetings with a clear motive to make the most of them.”
中部部長主題	「長所を活かして生き生きと」
金沢クラブ会長主題	「多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう」

2013 7 月間強調 Kick - off EMC - C

今月の聖句

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。

ヨハネによる福音書 17 章 21 節

7 月強調月間

MC の C は Conservation。クラブの健全な運営をチェックして、メンバーの満足度を高め、入会者の目線で魅力のあるクラブづくりをめざしましょう！

為国光俊 EMC 事業主任(京都パレスクラブ)

7 月例会 プログラム

と き	2013 年 7 月 18 日 (Thu.) 18:30~20:30
と ころ	金沢ニューグランドホテル
会 費	¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メ nett)
開 会 ・ 点 鐘	司 会 伊藤仁信君
主 題	幸正一誠 会長
ワイズ・ソング	司 会 者
今 月 の 聖 句	一 同
ハッピー・ハーベストデー	司 会 者
委員会報告	幸正一誠 会長
ニコニコタイム	各 委 員
Y M C A の 歌	伊 藤 仁 信 君
閉 会 ・ 点 鐘	一 同
	幸正一誠 会長
~~~~~送別の宴~~~~~	
ゲ ス ト 紹 介	幸正一誠 会長
送 別 の 言 葉	
食 前 の 感 謝	西 信 之 君
花束贈呈	

### 6 月 クラブ活動状況

#### 第 1 例会 (6 月 20 日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、高口、幸正、澁谷、清水、  
西、西尾、山内、山本 (10 名)

出席率 : 100 %

メ ネット : 伊藤、数澤、高口、澁谷、山本 (5 名)

ゲ ス ト : 北氏 (1 名)

#### 第 2 例会 (6 月 1 日 Sat.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5 名)

メ ネット : 数澤 (1 名)

#### ニコニコタイム

15,000 円

クラブファン ド 累計 160,100 円

#### B F ポイント

切手 0 kg 累計 0 kg

現金 12,000 円 累計 12,000 円

会 長	幸正一誠	書 記	山内ミハル
副 会 長	澁谷洋太郎	会 計	伊藤仁信
前 会 長	数澤輝夫	メ ネット 会 長	数澤淑子

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

## ワイズ銀河鉄道へようこそ

会長 幸正 一誠

皆様と共にワイズ海への2クールの旅を楽しみましたが、今期は夜空にきらめく星達に導かれ、宮沢賢治の『銀河鉄道』に習い『ワイズ銀河鉄道の旅』をご提案いたします。車両の右サイドには『多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう』のトラベルコピー（会長主題）を、又、左サイドには『楽しもうワイズライフ』（副題）のキャッチフレーズを掲げての銀河への旅を楽しんで頂きます。発車直後の8月には中部部会が金沢都H星にて開催されますので、多くのワイズとの出会いが楽しめます。この機会をチャンスとし、多くのワイズとの出会いを楽しんで下さい。多くのワイズと握手を交わして交流を楽しんで下さい。今期もこの様な臨時停車を多くしたいと思っています。楽しそうな星、美味しそうな星を見つけて臨時停車をしてその星を皆さんと共に楽しみたいと思っています。急停車する事も有りますので急ブレーキには、くれぐれもご注意願います。今期は全員参加を目指します。その為に臨時停車する特別星や開催日、時間等を最大限考慮します。一人でも多くのワイズ、メネットが参加しクラブ内交流を楽しみましょう。ワイズメンズクラブの楽しさは『交流』と『親睦』に有ります。特に新メンバーのワイズの方々、又前期余り参加できなかったメンバーの方々の参加を望みます。その為にも臨時停車する特別星を全員で探しましょう。車窓より望遠鏡を片手に銀河を眺めて下さい、その様な特別星が

見えませんか？私はコンダクターとして特別星を見つけました。2月又は3月に「メネット星」に停車し、この『ワイズ銀河鉄道の旅』を影ではなく全面に立って支えてもらっているメネット星の星人への感謝会を開催予定です。内容はワイズのみで後日お知らせします。

しかし、ご覧下さい。車両の中には空席が多く有ります。コンダクター一人では満席にする事は出来ません。この『ワイズ銀河鉄道の旅』をお楽しみ頂いている皆さんと共に、全員一致し総力上げてワイズ銀河鉄道へご乗車頂ける様努力しましょう。パンフレット（ブリテン）をご利用ください。多くの方々に配布し宣伝に勤めてください。不足であれば喜んで増刷いたします。この銀河鉄道を牽引する機関車は乗車人数が増えれば増えるほど馬力が出る特別製機関車なのでご安心下さい。尚、試乗もOKです。出来れば試乗会（プラス1例会）が出来ればと考えています。兎にも角にも皆さん総力戦で臨みましょう。この銀河鉄道の中には廃線になる線路も出てきました。我が金沢ワイズ銀河鉄道は如何なることがあっても廃線とする訳には行きません。又、安易な考えも望みません。金沢ワイズ銀河鉄道らしい『ワイワイ・ガヤガヤと楽しい〜』をパワフルモットーとし総力を持って今期を乗り越えましょう。

来年6月到着予定のニューグランド星にて次期コンダクター（会長）に引継ぎ乗務日誌の乗員数欄には15名と記すことができますように！！

汽笛一誠 出発進行！！

### 【6月例会報告】

2012～2013 期最後の例会となりました。今期は入退会の多い年度となりました。山谷君、山内君の逝去に加え、影山君の退会と、3名の方を送り出しました。

一方、西君、清水君の新入会と、金沢ワイズメン60有余年の歴史に、初めて女性会員をメンに迎えるという苦肉の策で、山内メネットをメンとし、どうにかメンバー数は±0に抑えることができました。

しかし、更に6月をもって高口メン、西尾メンの退会が決定しており、2013～2014 期は2名減少の出発とならざるを得ないのは寂しい限りです。一人ひとりがメンバー増員のため、頑張りましょう。

（山内ミハル 記）

《清水君のスピーチから》

予備校入学が YMCA との出会いでした。大学に合格し主事にあいさつに行くと「明日ジャージと靴持っ

てきて」と言われリーダー活動が始まりました。

大阪南 YMCA は日本最初のランチとして設立され「体育を好きになる教室」をはじめとする幼児小学生のオールラウンド体育クラスが行われていました。大学へ行くのは週1回でしたがYでは毎週3クラスを担当し、ミーティング・特プロを含めると月20日間はYに通っていました。夏は阿南キャンプ、冬春はスキーキャンプのため実家にはほとんど帰りませんでした。

「メンバーにはスイカが海で流されたと言って実はリーダーだけで食べた」「水泳教室で水に顔をつけられない子を無理矢理沈めた」など模範的ではないこともたくさんありましたが、「サンタクロースに扮した時に3歳児が本物と信じ切っていたこと」はいい思い出の一つです。

ボランティアリーダーと呼ばれていましたが、「無

報酬」ではなく「自発的活動」という真の意味でのボランティアだったと思います。「お金」以上のものを得ることができました。

リーダー活動で得た経験（イベント企画、人間関係の作り方、自分の意見の通し方など）は社会人になってからもとても役に立っています。

仕事でお客さんと話をする場合には相手のニーズやスキルに合わせた対応が必要ですが、これはキャンプで初めて会ったメンバーの心を素早くつかむことと

同じだと思います。

現役のリーダーには「今リーダーをしていてよかったと思っているだろうけれど本当によかったと思うのは20年後30年後だよ。」と言っています。

Y生活も30年を超えました。今でも当時のスタッフ・リーダー・メンバーとの交流があります。YMCA = You must come again なのでいつまでも離れられません。Yで学んだことを生かしていくのはこれからです。



## 第16回西日本区大会に参加して

伊藤 仁信

第16回西日本区大会が2013年6月21日（金）～23日（日）名古屋能楽堂にて開催されました。ホスト部が中部でホストクラブが名古屋・四日市クラブでしたが中部のクラブが全員一丸となり組織的に準備し開会を迎えなければならないのに、私共金沢地区は距離的な事もあり準備等にあまり参加出来ず申し訳なかったと思っております。

今回は期の途中で西日本区の理事急逝という思いが今回は期の途中で西日本区の理事急逝という思いがけない事柄が発生し、その対応に関係者は大変だったことと思います。中部地区での大会準備も最初からやり直しと同じことをしなければならず、今までの流れと違って大変なエネルギーが費やされました。しかし、若松実行委員長の指揮の下「和やか・お迎え隊」としてスローガン通り一致団結して大過なく運営出来たことは大変な喜びと同時に安堵に胸を撫でております。

大会は能楽堂という初めての所での会場で行われた

ため、收容人員の制限もありましたが、スタッフは大会がスムーズに進行出来るよう別室でスタッフのシャツ姿で待機していたのでテレビ参加となり大会の空気に直接触れることは出来なかったが、その雰囲気は十分感じ取ることが出来ました。

金沢クラブは勿論スタッフなので、「お迎え隊」の一員として早朝から会場に待機するため前日から名古屋に宿泊いたしました。参加者は数沢・幸正・澁谷・山内・伊藤メンと数沢メネットの6名そして会場で清水メンと合流し計7名の参加でした。大会参加者は約850余名と聞いておりますが、東日本区からも多くのワイズメンが参加し特に、金沢クラブと東日本区の仙台広瀬川クラブが今年の6月にDBCを締結しましたので仙台からも会長以下数名が参加しました。金沢クラブとしても意義のある大会となり、懇親会時には両クラブが手を取り合い壇上でアピールいたしました。終了後両会長の計らいで別室を設け、両クラブがこれからの活動をいかに進展させるかなどについて金沢と仙台のメン・メネットが名古屋で語り会いました。



2日目はプログラム通り進みましたが理事引継ぎ等の時に、在りし日の成瀬理事をスライドで写しながら説明された時は、会場内で目頭をおさえられた方が沢山見受けられ成瀬理事のお人柄が偲ばれる一刻で大変心に残りました。

以上私の感じたことを中心に述べましたが、ほかにいろいろ正確な報告なりコメント

などが出ると思いますので詳しくはそれらをご覧ください。最後に、交通手段は自家用車で幸正メンがメインドライバー（めい運転者）となり往復しましたが、滞在中や道中に金沢クラブの特質なのかサプライズというかハプニングか必ず発現します。今回も間違いなく発現しましたが、しかし今回は割愛し機会があれば後日ご報告いたします。ただ、それが暑さと疲れの中の一服の清涼剤となった事は間違いありませんでした。

大会に関係された方々特に準備された方々にお礼申し上げます。そして金沢クラブの皆さんも無事帰ることが出来、2泊3日の旅大変お疲れ様でした。これもご恩寵の賜と感謝いたしております。



仙台広瀬川クラブと金沢クラブの DBC 締結披露する両クラブメンバー



イルミネーションに輝く名古屋城を窓外に眺めながら、両クラブはさらに親密に・・・。

### 「仙台広瀬川クラブとの DBC 締結」

澁谷 洋太郎

クラブ内で高まっていた、東日本区北東部仙台広瀬川クラブとの「DBC 締結」の気運がここに締結式へと実をむすびました。

慎重に仙台広瀬川クラブとブラザークラブにと準備を進めて約1年。お互いの願いが一致して締結へと進みました。ここに至るには伊藤仁信君の働きと存在が大きな要因です。広瀬川クラブの主要なメンバーと旧知の間柄であり絆が強かった。そして朝倉 YMCA 理事長と広瀬川の伊勢会長が旧知の間柄であったことが信頼へとつながった。

このようにして盛岡花巻温泉での 2013 年 6 月 8 日 第 16 回東日本区大会において DBC 締結式を行うことが決定いたしました。

締結式に臨むのは幸正会長、伊藤、数沢、澁谷の 4

名。この 4 名は 3 月 23 日・24 日に広瀬川クラブの例会に出席して、先方のメンバーの方々と顔を合わせて金沢クラブをご理解いただくべき配慮をいたしました。締結式での立会についても高瀬西日本区理事代理・石田交流主任・荒川中部部長への連絡等手配をいたしました。



さて、いよいよ締結式が行われる東日本区大会（花巻温泉千秋閣）へ出発しました。3月に仙台へ例会出席のため出かけているので余裕の出発でした。伊藤さんが此の事を予想して車を新車にしておられたので、ゆったりとしたクルージングとなりました。金沢→新潟→伊達→東北道→仙台へ、約7時間で仙台到着。青葉城址で政宗の銅像を見ようと期待しましたが、時間が遅く閉門されており、残念でした。

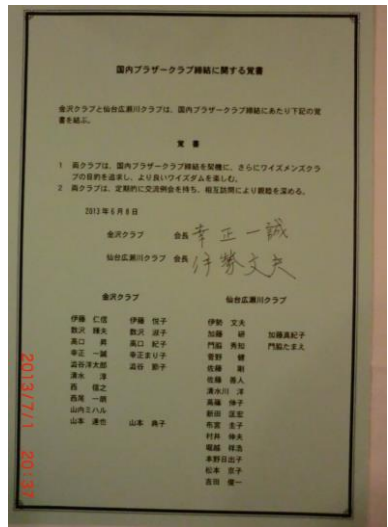
夕食は伊藤さんおなじみの牛たん屋で、これが仙台の「牛たん」だ！と美味しく頂きました。また、伊藤さんおなじみのクラブにもお伴することが

できて仙台の夜を堪能いたしました・

いよいよ締結式当日、10時前に仙台を出て昼前に東日本区大会の会場であるホテル千秋閣に到着して登録をすませました。440名ほどの参加者です。締結式のための部屋が用意されており、大会の区切りの時間に行う予定です。両クラブの会長以下メンバーが待機するなか、顔ぶれがそろい東日本区理事駒田勝彦理事、西日本区高瀬稔彦理事代理、両部長、両主任立ち会いの下、伊勢・幸正両会長の署名が行われ締結が完了しました。

**左：締結証**  
両会長と立会人の東・西日本区理事のサインがあります。

**右：締結に関する覚書**  
両会長のサインと両クラブのメンバー全員の氏名が記載されています。



締結式に参列した両クラブのメンバー

~~~~~ **お知らせ** ~~~~~

- ☆7月例会変更のお知らせ
7月例会は 18:00 から通例のセレモニーを行い、19:00 から場所をパラッツォにかえて、送別会を行います。
- ☆中部部会
日 時：8月31日（土）11:30～17:30
場 所：金沢都ホテル
登録費：10,000円

~~~~~ **YMCAのお知らせ** ~~~~~

- ☆早天祈祷会  
日 時：2013年8月1日（木）6:00～  
場 所：金沢YMCA集會室
- ☆YMCA わいわい農園 事業開始  
事務局：北陸学院大学ライザー記念館  
金沢市三小牛イ-9-2  
参加費：一人1,000円/年  
栽培品種：根菜類、花卉類



2013.7 ブリテン 「メネット報」原稿

もう1年、また1年と今期3年目のメネット会長を引き受けざるを得なくなりました。正直、わがメネット会の現状は本来の会としての機能を果たしていないようです。こう言い切ってしまうのは身も蓋もないのですが、少ないメンバーながら、それぞれ仕事や他の活動に忙しく集まる日程を調整するにも苦慮する有様です。しかしながら今年度もなんとかみんなで協力して、ささやかではあるが“金沢クラブメネット会ここにあり”と胸を張ってワイズメンを支え、金沢クラブのムード作りの一旦を担いましょう。

もう一年、どうぞよろしく願いいたします。

さて、私は昨年引き続き、今年も東日本大震災復興支援活動に参加する機会を得て、先月宮城県南三陸町の被災地へ行って来ました。

東北は遠いです。行くのに約一日を要し、翌朝、南三陸ホテル観洋の「語り部バス」に乗って被災地を案内してもらいました。被災者であるホテルスタッフが津波で全てを失った実体験を交えてリアルに各地の状況を説明してくれました。二年が過ぎ、瓦礫は大方撤去されてはいるが、どこにも復興の槌音は聞こえません。かつての住宅街が延々草原のようでアカツメクサや、野生なのかヒナゲシの赤い花があちこちに咲き乱れているのが美しくも悲しい風景でした。

その後、大震災から2年が経過して、今なお仮設住宅で生活している方々を、ボランティアセンターを通じてお訪ねしました。中学校のグラウンドの一角に建てられた仮設住宅の集会所で、集まって下さった方々にアロマ入りの足湯でマッサージをさせていただいて、金沢のお茶やお菓子でお茶の時間を共にし、準備していった紙芝居や、身体を動かす遊びなどで2時間程寛いでいただきました。打ち解けたころ、手作りの漬物や、茎わかめの美味しい和え物がテーブルに並べられ、とても美味しく作り方を聴くと、持ってきて下さった婦人は得意げに身ぶり手ぶりでレシピを教えて下

さいました。短時間でしたが和やかな交流が持てて良かったと思う反面、すぐ近くで学校の子どもの声やチャイムが聞こえ、一見平常のように錯覚するが、この人たちのここでの生活は今なお非常時なのだということに心が痛み、何時までこんな生活を強いられるのかと思うと、暗澹たる気持ちになりました。



次の週、西日本区大会が名古屋で開催され、「メネットアワー」に山内メネット（メン）と共に参加しました。90名ほどのメネットさんが参加され、事業報告や引き継ぎが行われました。メネット国内プロジェクトとして宗方比佐子先生の、そっと人に寄り添う「こころのケアを考える」講習会の報告がありましたが、名古屋で行われた講習会には金沢からは参加できず残念でした。今回講習会のテキスト「心のケアを考える」が配られましたが、支援活動に行く前に読んでいればよかったと残念でした。事前打合わせで、ある程度の知識や心構えは出来ていたつもりでしたが、被災者1人ひとりの心の傷は計り知れないのです。果たしてどれだけ被災者の心に寄り添うことが出来たかと反省しきりです。「寄り添うこころのケア」は長期に亘って継続すべき活動で、決して忘れてはならないと思うのです。

(数澤淑子 記)

Happy Birthday

該当者はありません

8月の担当

ブリテン執筆： 清水 淳君

山内ミハルさん

卓話担当： 数澤 輝夫君